

Authoring & Editing environment for Web2Print.

Edition BackStage ▲  
Edition Flex ▲

## ユーザ設定手順

第1.0版

**RESOLOGIC**

## はじめに

「Edition Flex」(以下 Flex といいます) で利用するテンプレートやカセット、素材は、「Edition BackStage」(以下 BackStage といいます) 環境で設定、登録します。また、その際の編集画面には Flex が利用され、互いに連携することで運用されます。

しかし、両者は構造上 独立した Web アプリケーションなので、両アプリケーションを利用する上では、相互の連携に必要な設定をそれぞれの環境に定義しなければなりません。

そのため BackStage と Flex の連携に必要な設定には下記のようなものがあります。

### 1. 連携する Flex アプリケーションの設定

BackStage 側に 連携の対象となる Flex アプリケーションの URL を設定します。

### 2. Flex、BackStage 共通で認証するためのアカウント情報の設定

Flex と BackStage それぞれに、連携用のログインユーザーアカウントを登録し、認証のための設定を行いません。

### 3. Flex がデータを参照するプロバイダの設定

Flex が編集時に利用する、カセット、素材を取得する為のプロバイダ(提供者)を登録します。

ここに BackStage の URL を登録することで、BackStage に登録した素材やカセットを編集に利用できます。

# 1. 連携するシステムの設定について

BackStage がどのFlexアプリケーションと、どのユーザーで、またどこにあるデータを使って連携するかといった設定を行ないます。

## 1) 連携する Flex アプリケーションの設定

BackStage が連携するFlexはどれであることを特定するため、BackStageのシステム設定で、対象となるFlexアプリケーションのURLを設定します。

## 2) Flex、BackStage 共通で認証するためのアカウント情報の設定

BackStage と Flex が連携して運用されるために、それぞれに同じアカウントを追加して そのアカウントで認証される様に設定する必要があります。

このスクリーンショットは、Edition BackStageのアカウント設定画面を示しています。ブラウザのアドレスバーには「http://flex.reso.co.jp/backstage/profile/edit」が表示されています。ページのタイトルは「Edition BackStage - 設定の編集」です。設定項目には「更新」と「キャンセル」のボタンがあります。アカウント情報は以下の通りです：

ロール:	デザイナー
ユーザーID:	design04
パスワード:	<input type="password"/> パスワードを変更しない場合は空欄にしてください
ユーザー名:	デザイナー04
メールアドレス:	<input type="text"/>
説明:	<input type="text"/>
共通鍵:	....
認証情報有効期間:	0 秒 (0 を指定すると無制限)

Copyright(c) 2010 RESOLOGIC Inc. All rights reserved.

BackStage のアカウント情報

このスクリーンショットは、Edition Flexのアカウント設定画面を示しています。ブラウザのアドレスバーには「http://flex.reso.co.jp/flex/profile/edit」が表示されています。ページのタイトルは「Edition Flex - 設定の編集」です。設定項目には「更新」と「キャンセル」のボタンがあります。アカウント情報は以下の通りです：

ロール:	編集専用ユーザ
ユーザーID:	design04
パスワード:	<input type="password"/> パスワードを変更しない場合は空欄にしてください
ユーザー名:	design04
メールアドレス:	<input type="text"/>
説明:	<input type="text"/>
共通鍵:	....
認証情報有効期間:	0 秒 (0 を指定すると無制限)

Copyright(c) 2010 RESOLOGIC Inc. All rights reserved.

Flex のアカウント情報

※BackStage も Flex も 個々にログイン画面を持ったWebアプリケーションです。

従って、通常であればそれぞれ呼び出す度に、各アプリケーションのログイン画面が表示され、ユーザIDとパスワードを入力する必要があります。

それでは使い勝手が悪いので、ログイン画面を介さずにシステムが暗黙のうちに認証して連携する様にしており、上記はそのための設定となります。

### 3) 各種データプロバイダ(提供者)の設定

BackStageとFlexの連携ワークフローは、前述のアカウント設定に従って、BackStageのユーザIDでFlexの編集画面を表示して編集させるように要求します。

その際、BackStageは、「〇〇というテンプレートを編集させて欲しい」とだけ要求します。

要求された「〇〇というテンプレート」の実体のソースデータは、通常「プロバイダ」なる共通の場所に置かれ、そこから取得しますので、ソースデータ自体を受け渡す必要がありません。

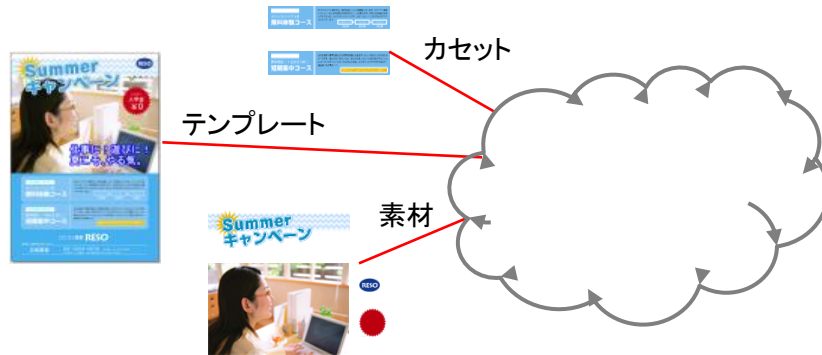
(※ただし編集時にユーザが単独でアップロードした専用の素材については実体を埋め込んで渡す必要があります)

プロバイダには、

- ・テンプレートを編集する際の「テンプレートプロバイダ」
- ・カセットを管理する「カセットプロバイダ」
- ・素材を管理する「素材プロバイダ」

の3種類があります。

それぞれのプロバイダの情報をFlexに登録して運用します。



BackStage上で登録したカセットや素材については、BackStageが「プロバイダ」となりますが、「プロバイダ」は必ずしも、BackStageである必要はなく、プロバイダAPIと呼ばれる、Flexからの呼び出し要求に答えられるインターフェース(URL)が実装されていれば、それは何であって構いません。

デフォルトプロバイダ			
プロバイダ名称	プロバイダURLプレフィックス	編集	
テンプレートプロバイダ	http://210.168.18.115/backstage/cooperation	編集	編集
カセットプロバイダ	http://210.168.18.115/backstage/cooperation	編集	編集
素材プロバイダ	http://210.168.18.115/backstage/cooperation	編集	編集

素材プロバイダー一覧					
素材プロバイダの追加					
検索条件					
ページ: 1					
プロバイダ識別子	プロバイダ名称	作成日時	更新日時	編集	削除
有効フラグ	プロバイダURLプレフィックス				
b01	b01	2010年10月21日 10時22分11秒		編集	削除
有効	http://210.168.18.115/backstage/cooperation	2010年10月21日 10時22分11秒			
ページ: 1					

Flexのプロバイダー一覧

#### 4) プロバイダによるソースデータの流れ

Flexは編集開始時に、まず、テンプレートプロバイダから、テンプレートをダウンロードし、編集画面を呼び出します。

編集画面を表示する際に、イメージパーツがあり、その素材が必要になった時に、今度は、素材プロバイダから素材をダウンロードして表示します。  
(このときは低解像度画像のみを取得します)

その後印刷用PDFの生成といった、高解像度の素材が必要になった場合に、Flexが低解像度画像しかダウンロードしていなかった場合には、改めて、高解像度画像をプロバイダからダウンロードします。

BackStage は、テンプレート・カセット・素材 の各プロバイダの機能を持っています。

BackStage <--> Flex 連携においては、BackStage がプロバイダとなり、Flex がそれを利用します。

このプロバイダ機能は、BackStage 全体で一つではなく、BackStageのユーザごとに個々に 指定可能です。  
※ユーザIDを指定しない(指定を省略した)場合 BackStageからFlexにログインした際のユーザIDが使われる事になります。

つまり、プロバイダの設定作業では、Flex の各ユーザに対して、そのユーザでは、どのBackStageのどのユーザをプロバイダにするかということを設定する作業となります。

最もシンプルな構成では、

- 1)BackStage と Flex に同じユーザIDを登録します。
- 2)そのIDで Flex にログインし、プロバイダ設定で、そのBackStage のプロバイダAPIのURLを指定することになります。

これで、BackStage の特定ユーザ と Flex の特定ユーザが

- ・BackStage ⇒ Flex
- ・Flex ⇒ BackStage
- ・Flex ⇒ プロバイダ (BackStageのそのユーザ)

の3つの連携において、1対1で関連づくことになります。

## 2. BackStageの設定

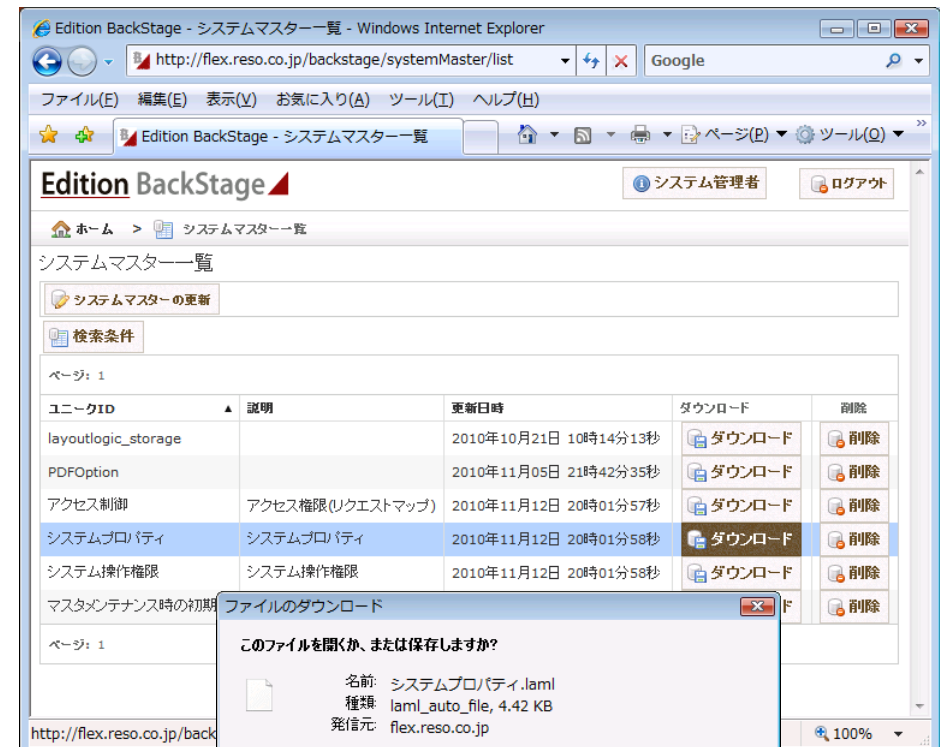
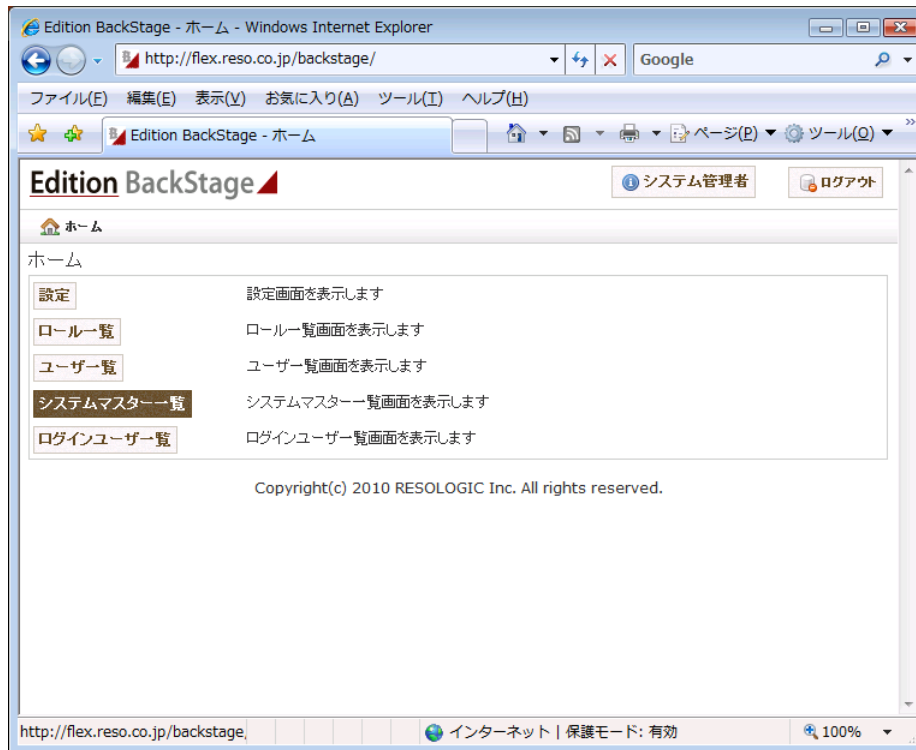
BackStage側の実際の設定手順について説明します。

### 1) BackStage に、連携する Flex アプリケーションを設定する

BackStage に対して、連携する Flex アプリケーションのURLをシステム管理者で設定します。

- ①システム管理者のアカウントで BackStageにログインします。
- ② [システムマスター一覧]を実行します。

- ③「システムプロパティ」のマスターファイルを[ダウンロード]します。  
※システムプロパティ.laml にて任意のフォルダに保存します。



- ④ダウンロードしたファイルをテキストエディタで開きます。  
下記の様な内容が記載されています。(表記例)

```

システムプロパティ   システムプロパティ
素材サムネイルサイズ  120
テンプレートサムネイルサイズ  120
config
リリース
grails
serverURL   http:// flex.reso.co.jp /backstage
mail
host       xxx.reso.co.jp
logicConfig
dataPath   c:/edition/backstage
editionBackstage
temporary
expire     86400000
loginstate
expire     3600000
removeLogicStorageData
expire     86400000
flexURL    http:// flex.reso.co.jp /flex
alive      /document/alive
relay      /document/relay
layout     /document/layout
download   /document/download
pdf        /document/pdf
jpeg       /document/jpeg
remove     /document/remove
logout     /logout/force
resourceLocatorPrefix
backstage  http://backstage.edition.reso.co.jp
flex       http://flex.edition.reso.co.jp
pribiz     http://pribiz.edition.reso.co.jp
メール
リリース
enabled    false
BCC        false
FromUser   true
From       backstage.from@example.com
ErrorsTo   backstage.errorsto@example.com
DebugTo    backstage.debugto@example.com

```

- ⑤「flexURL」タグに Flex アプリケーションのURLを指定します。

```

...
flexURL  http://flex.reso.co.jp/flex (記入例)
...

```

※編集完了した lami ファイルを保存します。

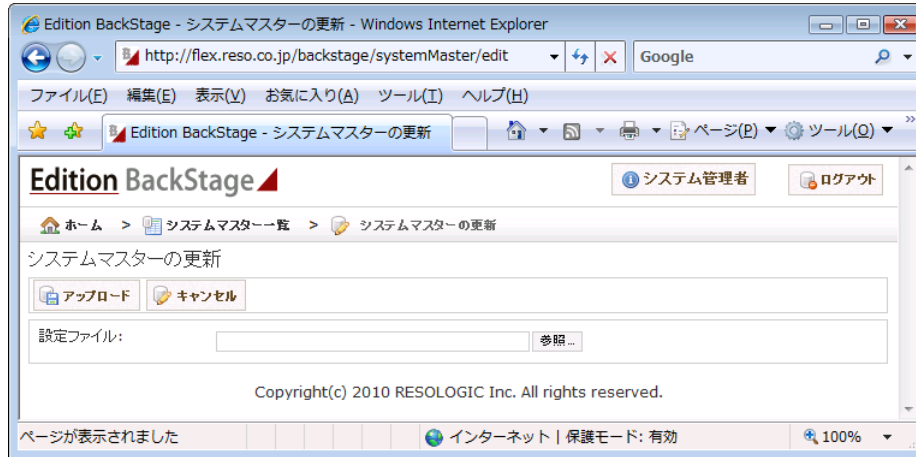
- ⑥[システムマスターの更新]を選択します。

The screenshot shows the 'Edition BackStage - システムマスター一覧' page. The browser window title is 'Edition BackStage - システムマスター一覧 - Windows Internet Explorer'. The address bar shows 'http://flex.reso.co.jp/backstage/systemMaster/list'. The page content includes a search bar and a table of system master items. The 'システムマスターの更新' button is highlighted. The table has the following data:

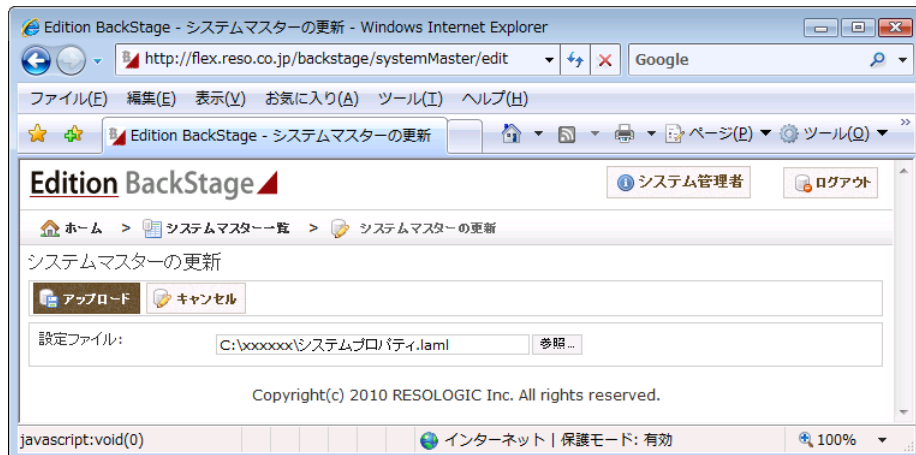
ユニークID	説明	更新日時	ダウンロード	削除
layoutlogic_storage		2010年10月21日 10時14分13秒	ダウンロード	削除
PDFOption		2010年11月05日 21時42分35秒	ダウンロード	削除
アクセス制御	アクセス権限(リクエストマップ)	2010年11月12日 20時01分57秒	ダウンロード	削除
システムプロパティ	システムプロパティ	2010年11月12日 20時01分58秒	ダウンロード	削除
システム操作権限	システム操作権限	2010年11月12日 20時01分58秒	ダウンロード	削除
メンテナンス時の初期値	メンテナンス時の初期値	2010年10月21日 10時14分15秒	ダウンロード	削除

※CRコードの無い UTF-8(BOM無し)が編集できるエディタをご利用下さい。

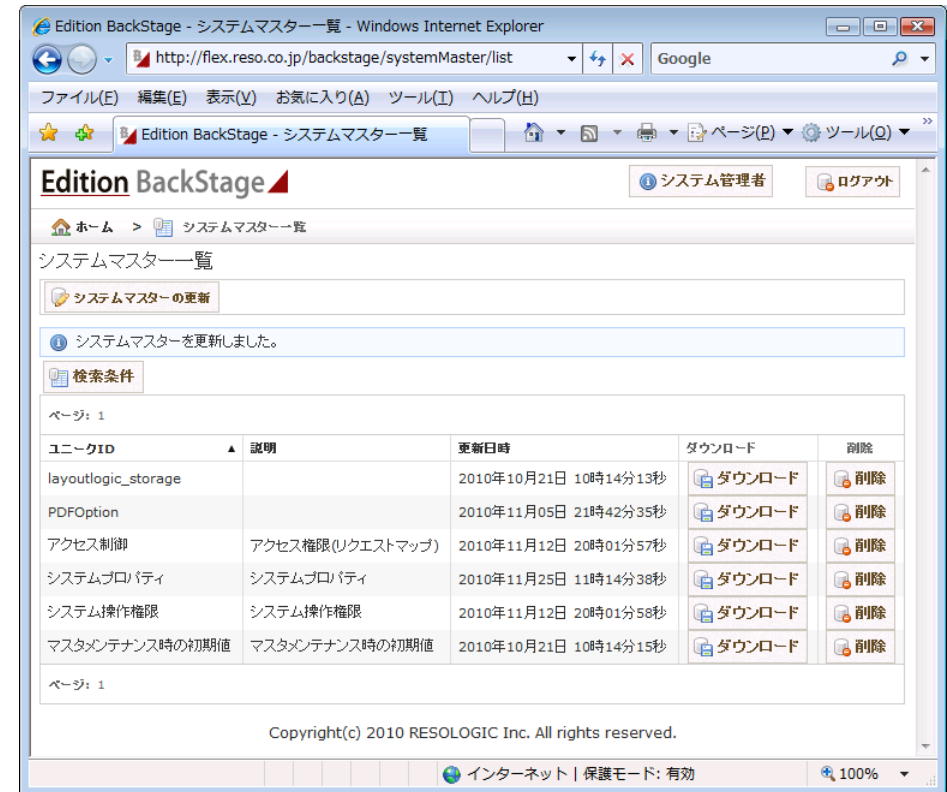
⑦「システムマスターの更新」画面が表示されます。



⑧編集した「システムプロパティ.laml」を指定して[アップロード]を実行します。



⑨アップロードが完了すると「システムマスター一覧」画面に「システムマスターを更新しました。」と表示されてマスタの更新が完了します。

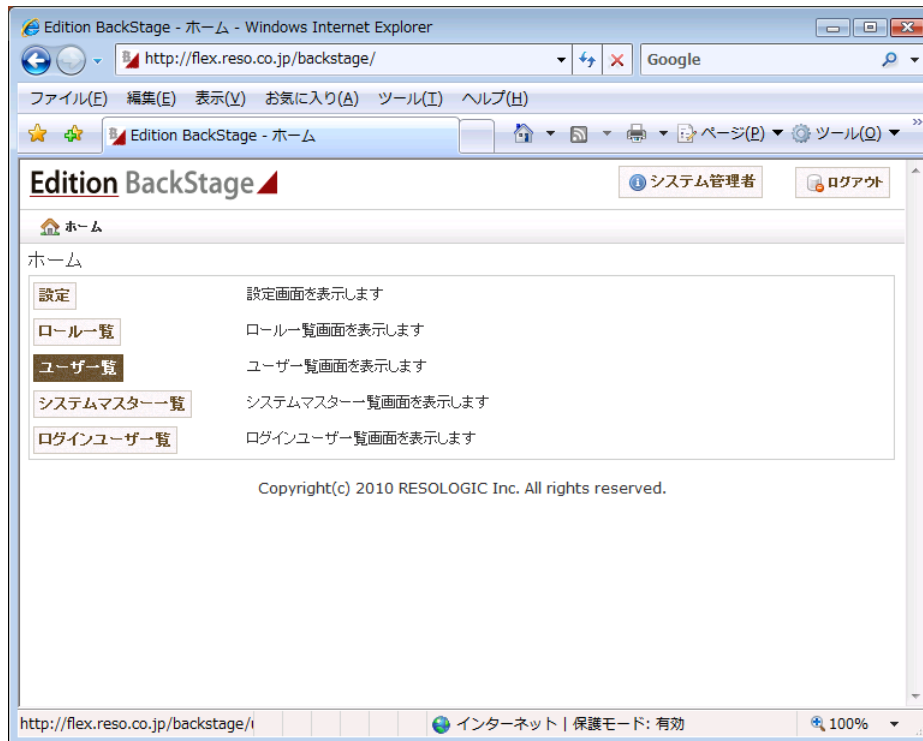


※更新したマスタの更新日時が更新されます。

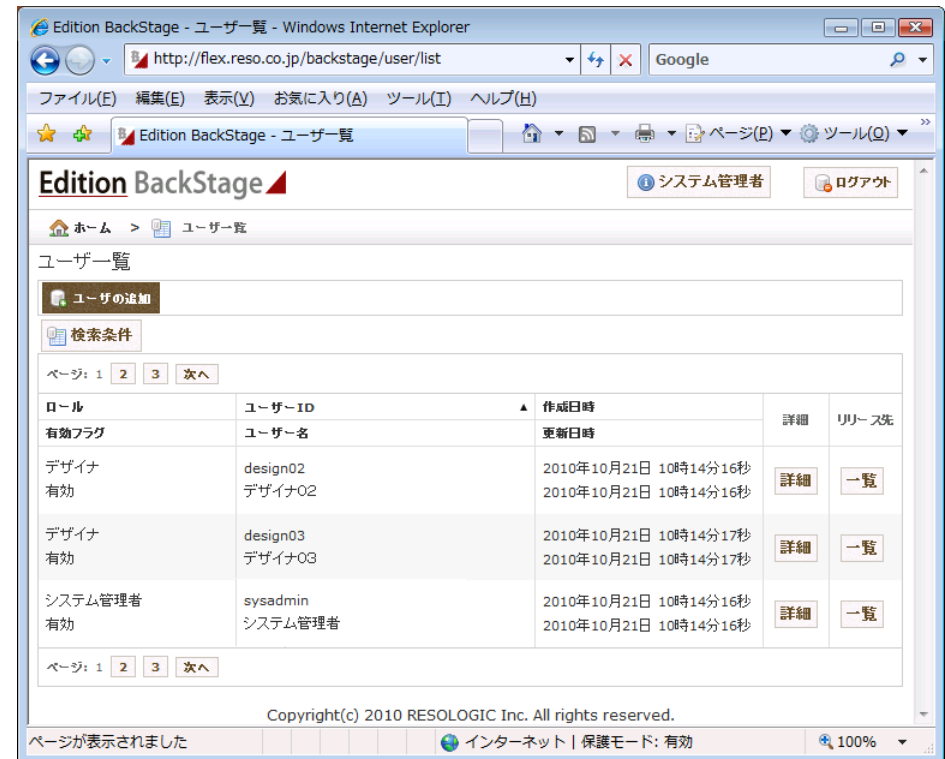
## 2) BackStage に、連携用のユーザーアカウント情報(ユーザID と パスワード、秘密鍵、利用期間)を登録する

BackStage のアカウントの追加・設定は、システム管理者で行ないます。

- ①システム管理者のアカウントで BackStageにログインします。
- ② [ユーザー一覧]を実行します。



- ③「ユーザー一覧」画面の[ユーザの追加]を実行します。



- ④必要な項目を入力し、[追加]ボタンを押してユーザを追加します。  
 その際、連携時にアクセスする Flex側のデザイナー権限 (= ロール)の  
 ユーザーと同じ[ユーザーID]、[パスワード]、[共通鍵]を入力します。

The screenshot shows a web browser window titled 'Edition BackStage - ユーザの追加'. The address bar shows 'http://flex.reso.co.jp/backstage/user/create'. The page content includes a navigation menu with 'ホーム', 'ユーザー一覧', and 'ユーザーの追加'. Below this is a form titled 'ユーザーの追加' with buttons for '追加' and 'キャンセル'. The form fields are as follows:

- ロール: デザイナ (dropdown menu)
- ユーザーID: design04 (text input)
- パスワード: \*\*\*\* (password input)
- 有効フラグ:  (checkbox)
- ユーザー名: デザイナ04 (text input)
- メールアドレス: (empty text input)
- 説明: (empty text area)
- 共通鍵: \*\*\*\* (password input)
- 認証情報有効期間: 1800 秒 (0を指定すると無制限) (text input)

At the bottom of the page, there is a copyright notice: 'Copyright(c) 2010 RESOLOGIC Inc. All rights reserved.' and a status bar showing 'インターネット | 保護モード: 有効' and '100%' zoom.

**ロール:**

ユーザ権限を指定します。  
 管理者、デザイナー、ユーザ等で利用できる機能が制限されています。

**ユーザーID/パスワード:**

ログインする際のユーザーIDとパスワードです。  
 ここでは連携時に Flex にログインする時と同じユーザーIDとパスワードを指定します。

**有効フラグ:**

このユーザーを無効とする場合チェックをはずします。

**ユーザー名:**

ログイン中 BackStage 画面の右上にこのユーザー名を表示します。

**メールアドレス:**

(現在 BackStage では使用していません)

**説明:**

ユーザー一覧の説明欄に表示する説明文言です。

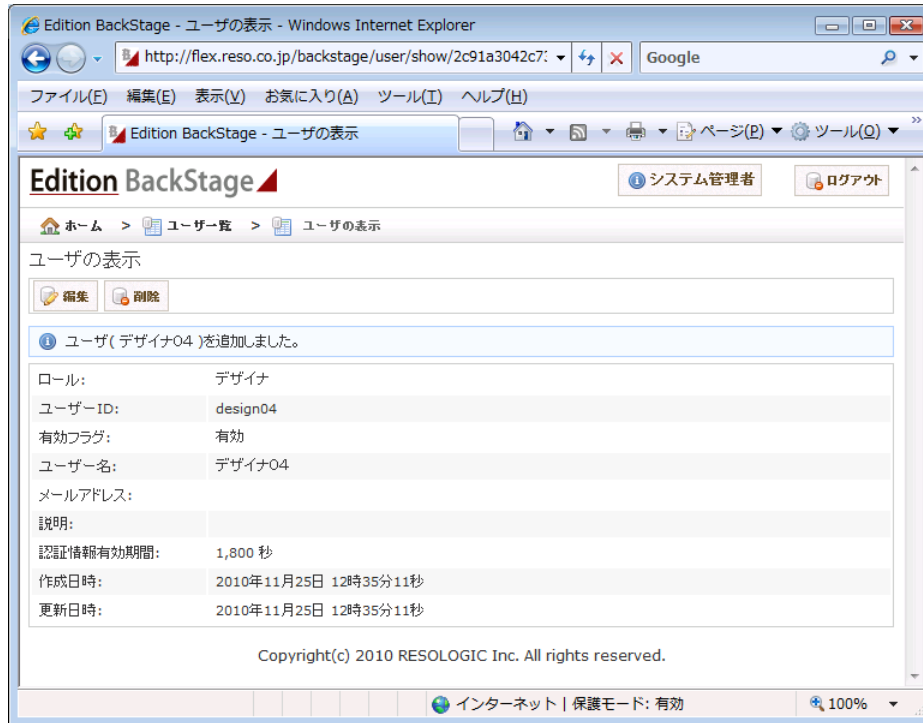
**共通鍵:**

Flex 連携時に認証で使用する暗号キーです。Flex側の設定と同じ文字列を指定します。

**認証情報有効期間:**

BackStageに対する共通鍵による認証処理が完了するまでの必要時間です。デフォルトは1800秒(30分)ですが、短くするほど安全です。

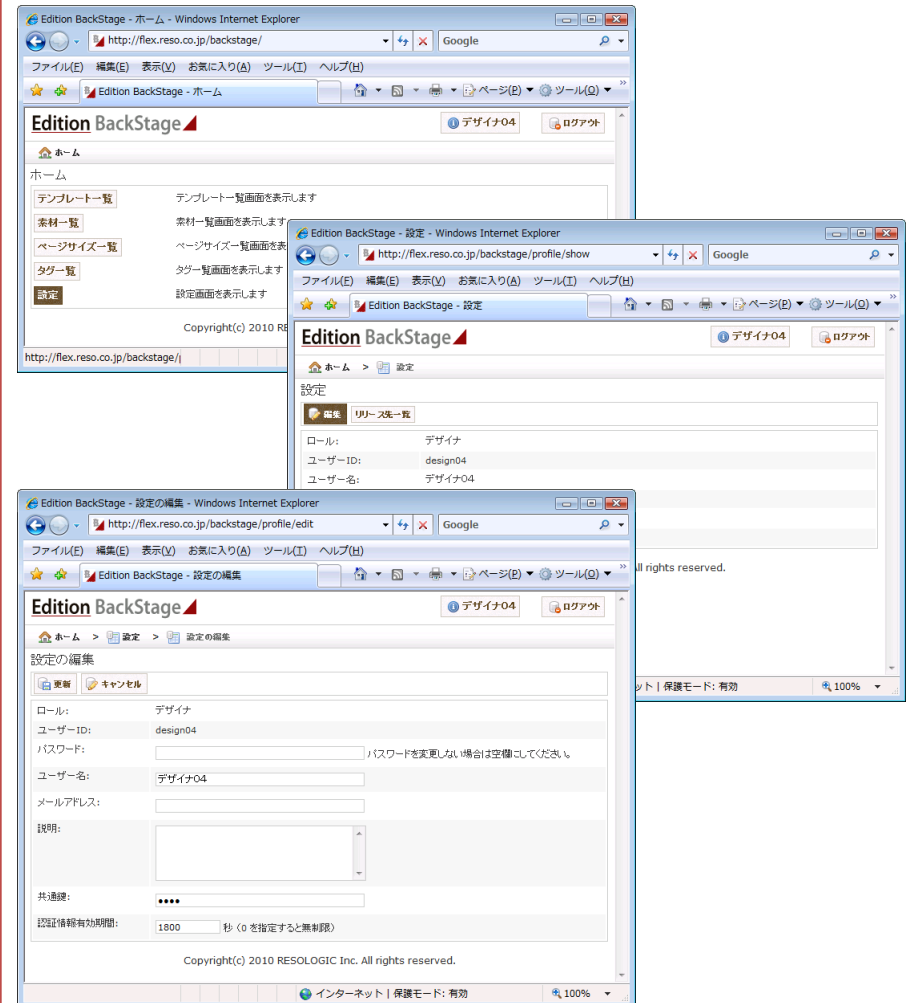
⑤入力した情報に従って、新しいユーザが追加されます。



⑥「ホーム」をクリックして、ホーム画面に戻ります。

(参考):

既に登録済みのユーザーでログインして アカウント情報を変更する場合は、ホーム-[設定]-[編集]で変更します。



### 3. Flexの設定

Flex側の実際の設定手順について説明します。

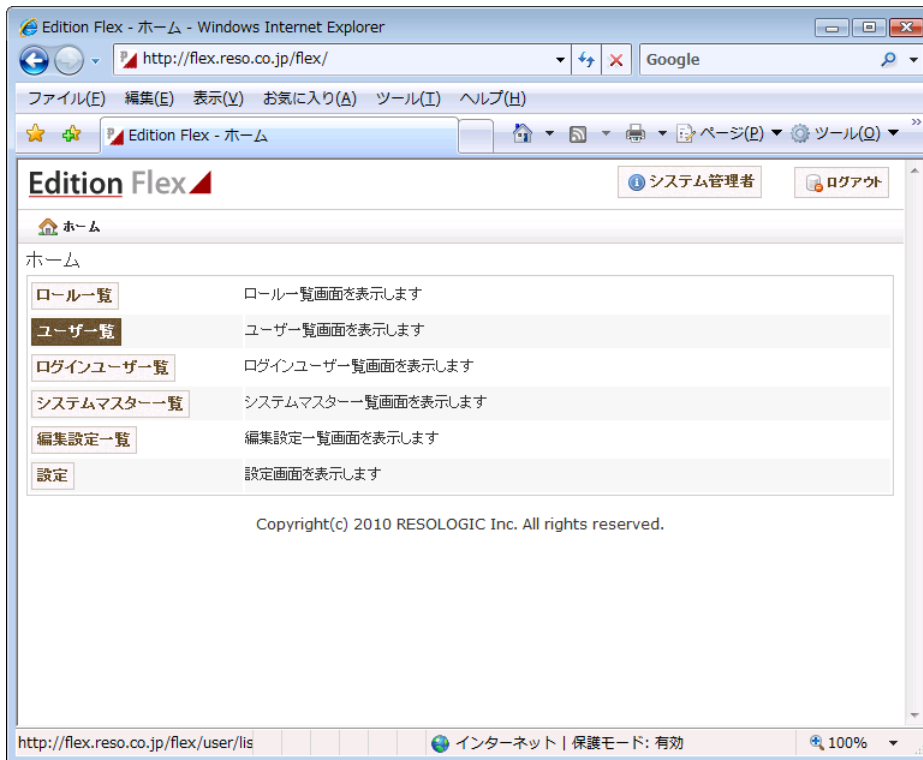
#### 1) Flex に、BackStage と同じユーザーアカウント情報を登録する

BackStage に追加したユーザーアカウントがFlexに登録されていない場合は、Flex側にも 同じユーザーアカウントを追加・設定します。

①システム管理者のアカウントで Flex にログインします。

② [ユーザー一覧]を実行します。

③「ユーザー一覧」画面の[ユーザの追加]を実行します。



- ④必要な項目を入力し、[追加]ボタンを押してユーザを追加します。  
 その際、連携時にアクセスする Flex側のデザイナー権限 (= ロール)の  
 ユーザーと同じ[ユーザーID]、[パスワード]、[共通鍵]を入力します。

The screenshot shows the 'Edition Flex - ユーザの追加' form. The fields are as follows:

- ロール: 編集専用ユーザ
- ユーザーID: design04
- パスワード: \*\*\*\*
- 有効フラグ:
- ユーザー名: デザイナー04
- メールアドレス: (empty)
- 説明: (empty)
- 共通鍵: \*\*\*\*
- 認証情報有効期間: 1800 秒 (0 を指定すると無制限)

**ロール:**

ユーザ権限を指定します。  
 システム管理者、編集用 等で利用できる機能が制限されています。

**ユーザーID/パスワード:**

ログインする際のユーザーIDとパスワードです。  
 ここでは 連携時に BackStage にログインする時と同じユーザーIDと  
 パスワードを指定します。

**有効フラグ:**

このユーザーを無効とする場合チェックをはずします。

**ユーザー名:**

ログイン中 Flex 画面の右上にこのユーザー名を表示します。

**メールアドレス:**

(現在 Flex では使用していません)

**説明:**

ユーザー一覧の説明欄に表示する説明文言です。

**共通鍵:**

BackStage 連携時に 認証で使用する暗号キーです。BackStage側の  
 設定と同じ文字列を指定します。

**認証情報有効期間:**

Flex に対する共通鍵による認証処理が完了するまでの必要時間です。  
 デフォルトは1800秒(30分)ですが、短くするほど安全です。

⑤入力した情報に従って、新しいユーザが追加されます。

The screenshot shows the 'Edition Flex - ユーザー一覧' page. A message indicates that a user named 'design04' has been added. Below the message is a table listing users.

ページ: 1	ロール	ユーザーID ▲	作成日時	詳細	編集設定	プロバイダ	カスタムページ
有効フラグ	ユーザー名	更新日時					
編集専用ユーザ 有効	design02	design02	2010年10月21日 10時18分03秒	詳細	編集設定	プロバイダ	カスタムページ
編集専用ユーザ 有効	design03	design03	2010年10月21日 10時18分25秒	詳細	編集設定	プロバイダ	カスタムページ
編集専用ユーザ 有効	design04	design04 デザイナー04	2010年11月26日 17時40分15秒	詳細	編集設定	プロバイダ	カスタムページ
システム管理者	sysadmin		2010年10月21日 10時15分27秒				

⑥「ログアウト」をクリックして、一旦システム管理者をログアウトします。

(参考):

既に登録済みのユーザーでログインして アカウント情報を変更する場合は、ホーム-[設定]-[編集]で変更します。

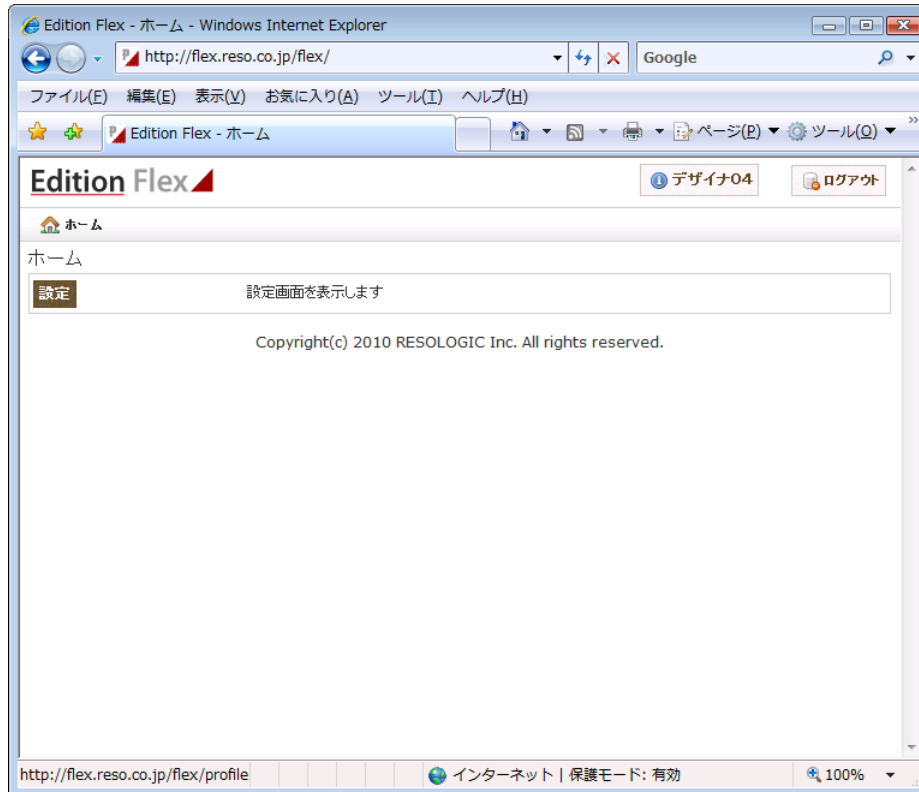
The screenshots illustrate the steps to edit a user's profile:

- The user logs in to the 'Edition Flex - ホーム' page.
- The user clicks on the '設定' (Settings) button.
- The user navigates to the '設定の編集' (Edit Settings) page.
- The user fills out the profile information form, including:
  - ロール: 編集専用ユーザ
  - ユーザーID: design04
  - パスワード: (masked)
  - ユーザー名: デザイナー04
  - メールアドレス: (empty)
  - 説明: (empty)
  - 共通鍵: (masked)
  - 認証情報有効期間: 1800 秒 (0を指定すると無制限)

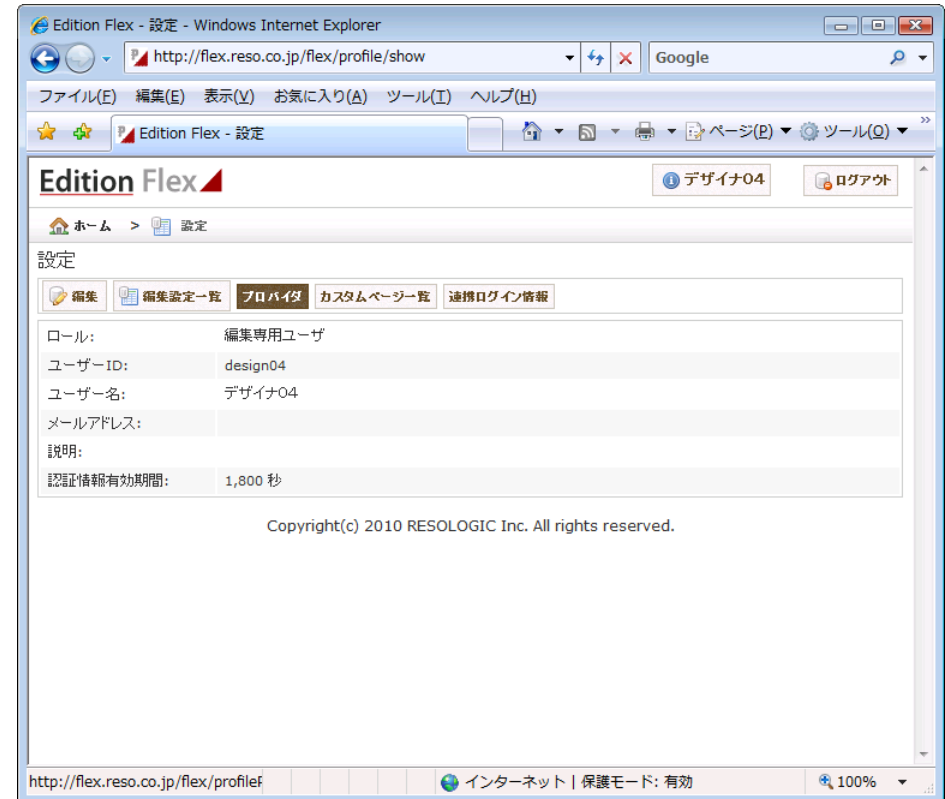
## 2) Flex に、プロバイダを設定する

追加した Flex のユーザにプロバイダを設定します。

① BackStage と連携するユーザーでログインして[設定]を実行します。



② [プロバイダ] ボタンを実行します。



- ③「プロバイダ」ダイアログが表示されます。  
「デフォルトプロバイダ」の「テンプレートプロバイダ」の[編集]を押します。

The screenshot shows the 'Edition Flex - プロバイダー一覧' page in Internet Explorer. The browser address bar shows 'http://flex.reso.co.jp/flex/profileProvider/list'. The page content includes a breadcrumb trail 'ホーム > 設定 > プロバイダ'. Under the heading 'デフォルトプロバイダ', there is a table with the following data:

	プロバイダ名称	プロバイダURLプレフィックス	編集
テンプレートプロバイダ			編集
カセットプロバイダ			編集
素材プロバイダ			編集

Below this table is a section titled '素材プロバイダ一覧' with a search bar and a table with columns: プロバイダ識別子, プロバイダ名称, 作成日時, 有効フラグ, プロバイダURLプレフィックス, 更新日時, 編集, 削除. The table content is empty, showing '見つかりませんでした'.

**テンプレートプロバイダ:**

テンプレートを編集する際のプロバイダを設定します。

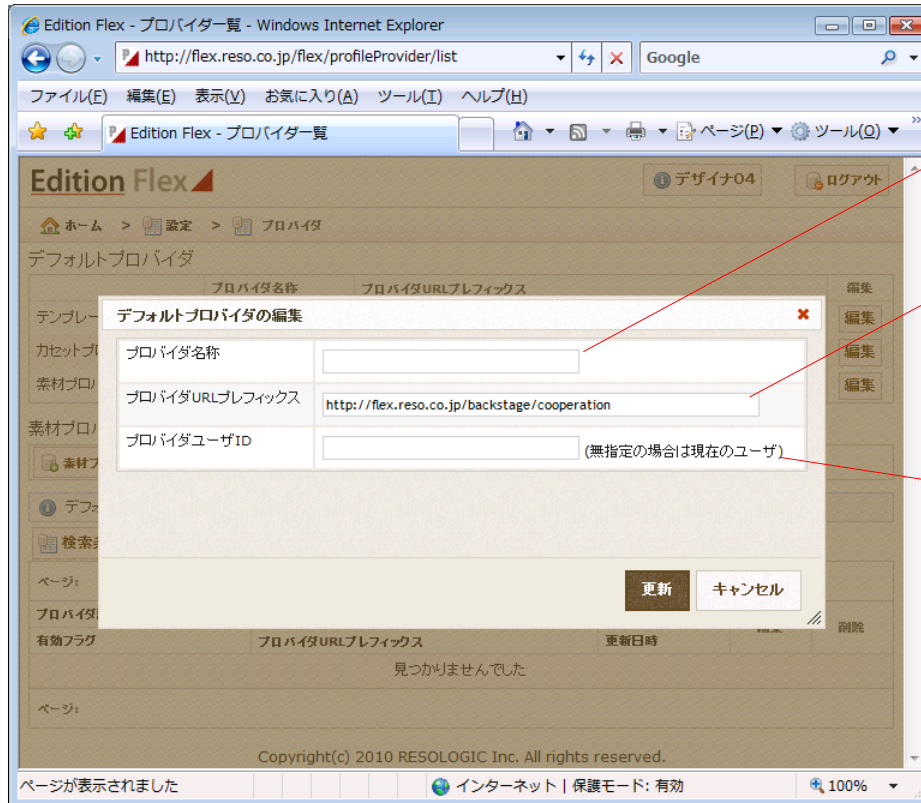
**カセットプロバイダ:**

カセットを管理するプロバイダを設定します。

**素材プロバイダ:**

素材を管理するデフォルトのプロバイダを設定します。  
※素材プロバイダはデフォルト以外に複数設定できます。

④「デフォルトプロバイダの編集」ダイアログが表示されますので、各項目を入力して [更新] します。



#### プロバイダ名称:

このプロバイダの名称を設定します。(省略可能)  
※プロバイダ一覧で表示される名称です。

#### プロバイダURLプレフィックス:

プロバイダAPIのURLを指定します。  
BackStage をプロバイダに指定する場合は、下記となります。  
“http://xxxx.xxxx.xx.xx/backstage/cooperation”  
※xxxx.xxxx.xx.xx の部分はBackStage のドメイン名です。

#### プロバイダユーザID:

プロバイダのユーザIDを指定します。(省略可能)  
※省略した場合にはBackStage から Flex へログインした際のユーザIDが使われます。  
※複数のユーザーでプロバイダを共用する場合はここに共通のユーザを指定します。

※「テンプレートプロバイダ」、「カセットプロバイダ」、「素材プロバイダ」はいずれも同じ設定項目となっています。

⑤「カセットプロバイダ」、「素材プロバイダ」のデフォルトのプロバイダも、同様に設定します。

デフォルトプロバイダ

	プロバイダ名称	プロバイダURLプレフィックス	編集
テンプレートプロバイダ		http://flex.reso.co.jp/backstage/cooperation	編集
カセットプロバイダ		http://flex.reso.co.jp/backstage/cooperation	編集
素材プロバイダ		http://flex.reso.co.jp/backstage/cooperation	編集

素材プロバイダ一覧

素材プロバイダの追加

デフォルトプロバイダを更新しました。

検索条件

ページ:

プロバイダ識別子	プロバイダ名称	作成日時	編集	削除
有効フラグ	プロバイダURLプレフィックス	更新日時		
見つかりませんでした				

ページ:

Copyright(c) 2010 RESOLOGIC Inc. All rights reserved.

⑥素材プロバイダは、デフォルト以外にも複数追加することができます。必要な場合「素材プロバイダ一覧」の[素材プロバイダの追加]を実行します。

デフォルトプロバイダ

	プロバイダ名称	プロバイダURLプレフィックス	編集
テンプレートプロバイダ		http://flex.reso.co.jp/backstage/cooperation	編集
カセットプロバイダ		http://flex.reso.co.jp/backstage/cooperation	編集
素材プロバイダ		http://flex.reso.co.jp/backstage/cooperation	編集

素材プロバイダ一覧

素材プロバイダの追加

デフォルトプロバイダを更新しました。

検索条件

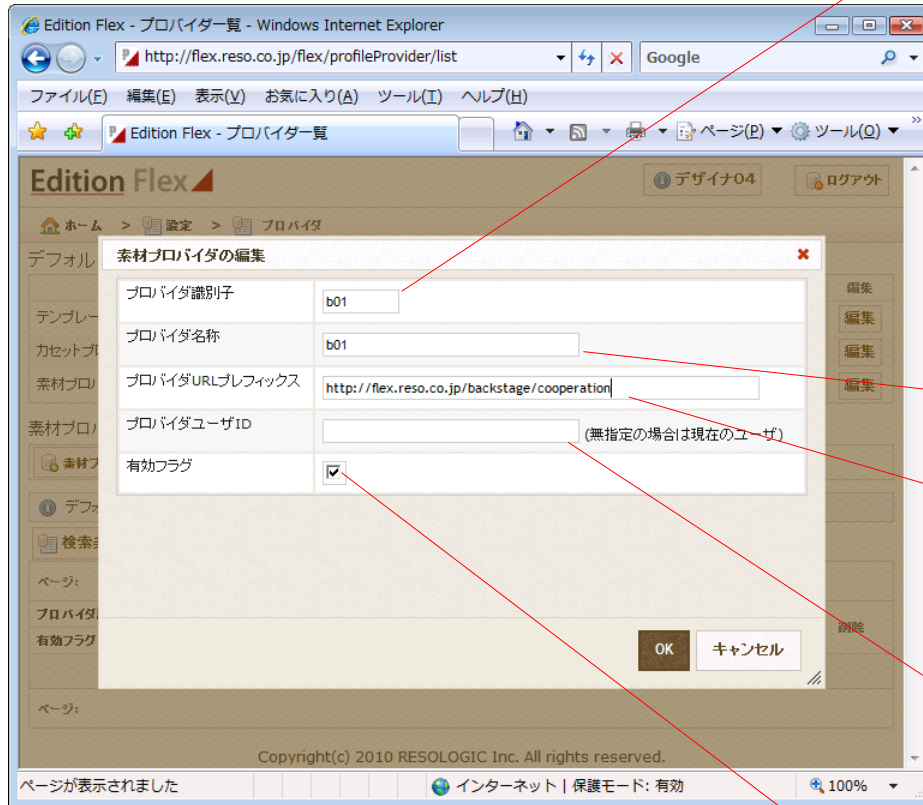
ページ:

プロバイダ識別子	プロバイダ名称	作成日時	編集	削除
有効フラグ	プロバイダURLプレフィックス	更新日時		
見つかりませんでした				

ページ:

Copyright(c) 2010 RESOLOGIC Inc. All rights reserved.


⑦「素材プロバイダの編集」ダイアログが表示されます。  
各項目を入力して、[OK]します。

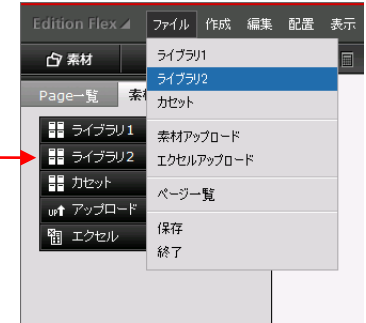


プロバイダ識別子:

Flexの素材メニューに対応したプロバイダ識別子を設定します。  
※Flex のシステム管理者の画面にて  
「編集設定一覧」から取得できる  
「editor.laml」内にて下記例のように

```
例) menuitem
    title ライブラリ2
    cmd AddImageParts
    param
        providerId b01
        title ライブラリ2
```

 に定義している3ケタの英数字です。



プロバイダ名称:

プロバイダ一覧に表示する名称。

プロバイダURLプレフィックス:

プロバイダAPI のURLを指定します。  
BackStage をプロバイダに指定する場合は、下記となります。  
“http://xxxx.xxxx.xx.xx/backstage/cooperation”  
※xxxx.xxxx.xx.xx の部分はBackStageのドメイン名です。

プロバイダユーザID:

プロバイダのユーザIDを指定します。(省略可能)  
※省略した場合にはBackStage から Flex へログインした際の  
ユーザIDが使われます。  
※複数のユーザーでプロバイダを共用する場合はここに共通の  
ユーザを指定します。

有効フラグ:

このプロバイダを無効とする場合チェックをはずします。

以上で 素材プロバイダが追加できます。

連携に必要な設定は以上です。